

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県 吉岡町

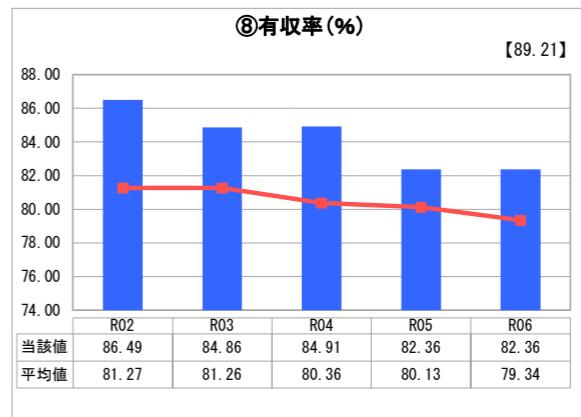
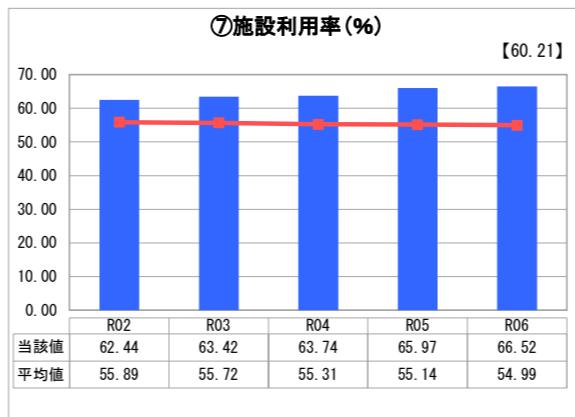
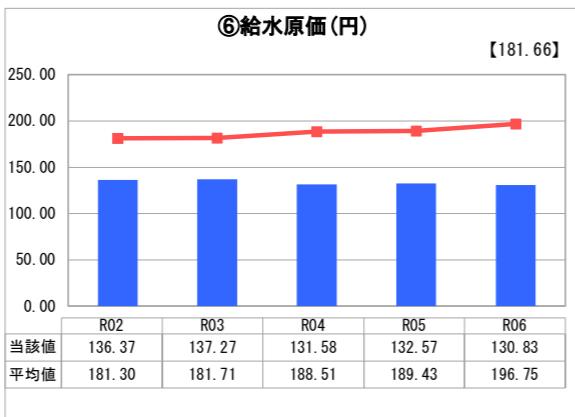
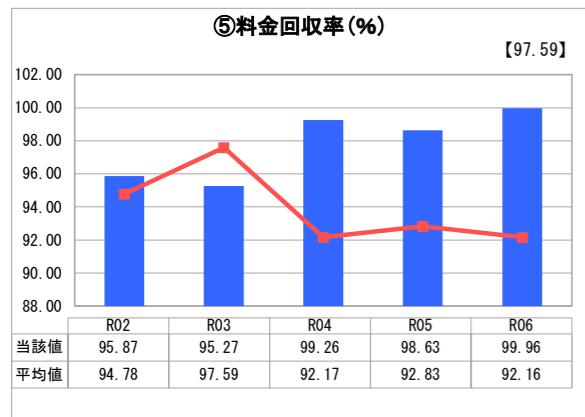
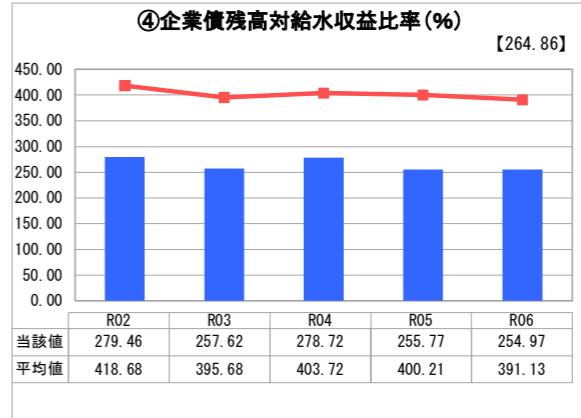
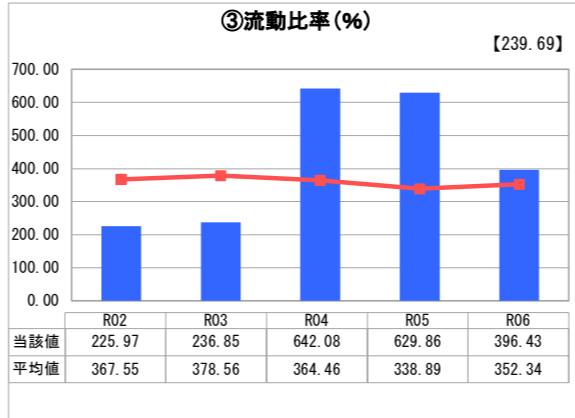
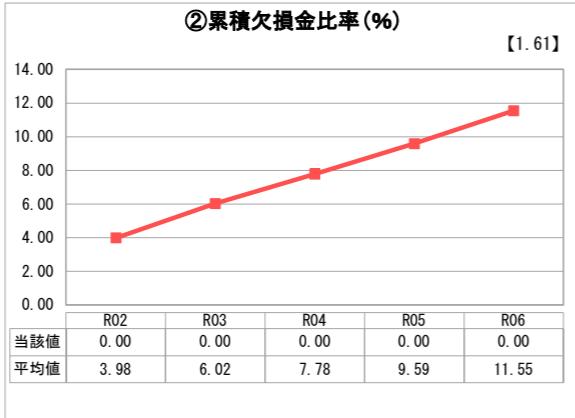
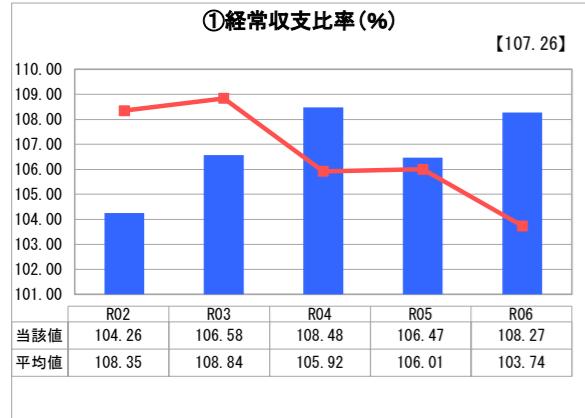
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	79.85	99.67	2,497	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,643	20.46	1,106.70
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,545	20.46	1,101.91

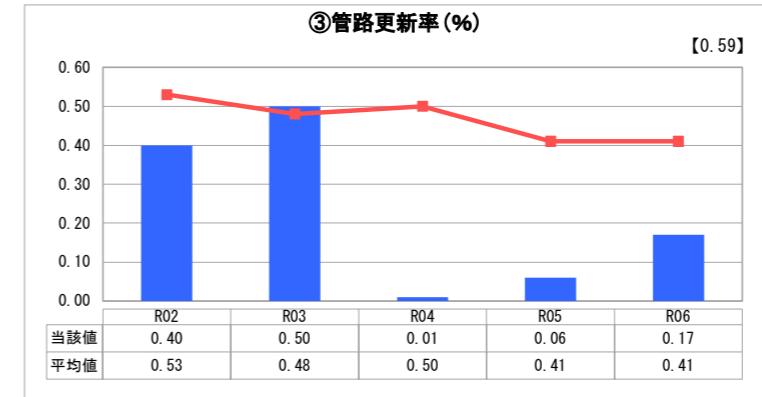
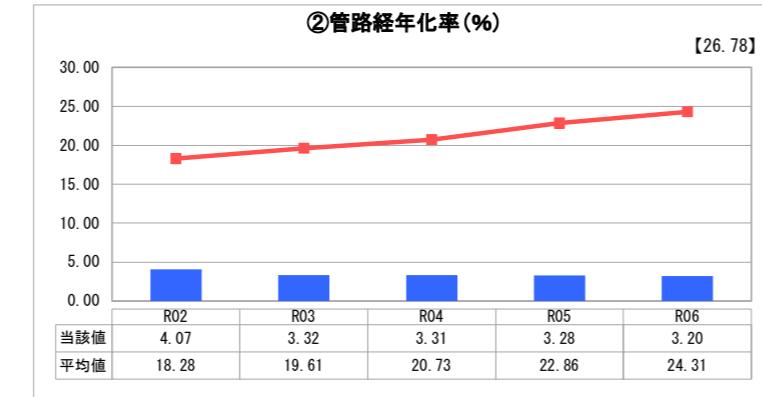
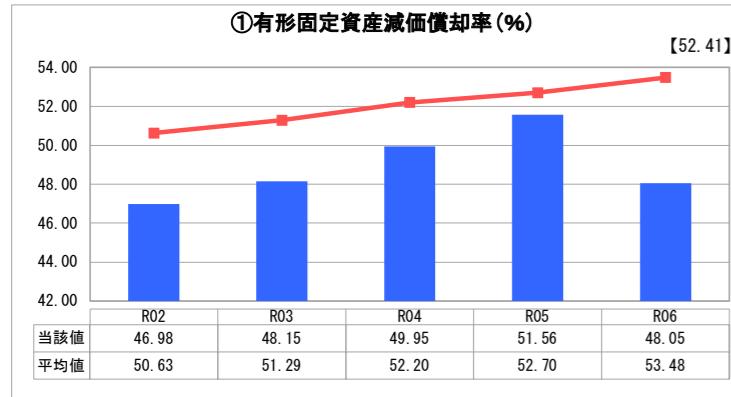
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は黒字であれば、100%以上となる指標です。類似団体平均値を上回っています。  
 ②累積欠損金は発生していません。  
 ③流動比率は、短期債務に対する支払能力を示す指標であり、100%以上であることが必要です。浄水場工事に関する支出のため大きく低下しましたが、類似団体平均値は上回っています。  
 ④企業債残高対給水収益比率は企業債残高の規模を表す指標で低いほど健全性が高いことになります。類似団体平均値と比べて低い水準にあります。  
 ⑤料金回収率は、水道料金収入で給水費用をどれだけ回収できているかを表す指標です。100%を下回ると料金収入だけで給水にかかる費用を賄い切れないことを意味します。100%を下回っているため、水道料金以外の収入により給水費用を賄っている状態です。  
 ⑥給水原価は、有収水量（料金の対象となった水量）1m<sup>3</sup>にかかる費用を表す指標です。類似団体平均値と比べて低い水準にあります。  
 ⑦施設利用率は高い方が施設の利用状況や規模が適正であることを表す指標です。微増傾向にあり、類似団体平均値と比べて高い水準にあります。  
 ⑧有収率は、100%に近いほど施設の稼働が収益に反映されていると言える指標です。数値は横ばいですが、類似団体平均値と比べて高い水準にあります。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、償却資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、浄水場工事が完了したため、低下しました。  
 ②管路経年化率は、法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標です。類似団体平均値に比べて低い水準にあります。  
 ③管路更新率：類似団体平均値と比べ低い水準を示していますが、令和6年度まで継続事業として実施していた上ノ原浄水場改修事業に多額の費用計上が見込まれるため、一時的に老朽管更新事業を縮小させていることが要因です。財源の確保や安定的な経営運営が最優先される中、管路施設の全体的な耐用年数を的確に把握した上で、適切に更新計画を実行していきます。

## 全体総括

「1. 経営の健全性・効率性の指標について」は、類似団体平均値と比較すると概ね良好と言えます。しかし料金回収率が100%未満であるため経費削減及び料金体系の見直し等の検討が必要と言えます。  
 「2. 老朽化の状況」については、②管路経年化率は、類似団体平均値を大きく下回っているものの、施設全体の減価償却は進んでいるため、多額の更新費用が必要となる見通しです。  
 今後は、策定済のアセットマネジメント計画及び経営戦略に基づき、着実に計画を実践していくことが安定的かつ継続的な経営に結び付くものと考えています。